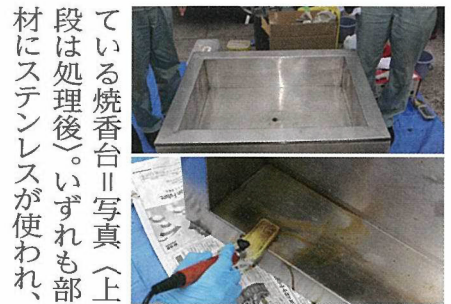


## 慰霊碑前焼香台の汚れ除去 金属表面処理技術を活用

G7 会合前にケミカル山本

ステンレスの焼け取り及び表面の改質法を確立している(株)ケミカル山本(佐伯区、山本正登社長)は、こうした金属表面処理技術を活用して平

(中区)内にある、ステンレス部材が使用されている施設の錆や汚れを除去する出前の奉仕事業を先月行った。十日から始まるG7広島外相会合で同公園は主要会場の一つとなり、クリーンなイメージづくりに協力した。広島市と調整して決めた対象施設は、広島国際会議場入口玄関と原爆死没者慰霊碑前に設置され



ている焼香台の写真を(上段は処理後)。いずれも部材にステンレスが使われ、

### 女性社員初の技術士

(株)中電工の苗井洋子さんが、女性社員で初めて技術系最高峰の国家資格である「技術士(電気電子部門)」に合格した。

技術士とは、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導

経年によるサビや雨だれ跡などの汚れが付着し、通常の処理では落ち難かった。そこで電源器、専用のオリジナル電解液を使い、電気と化学反応させながら電解方式で取り除いた。事前に下見や準備を済ませ、六人が作業にあたった。

電解液を用いた電解処理によるステンレスの溶接焼け取り、サビ・汚れ取りのパイオニア企業。クリエイトセンター(廿日市市宮内工業団地)では、表面改質技術を活かした加工請負事業を展開している。今後もうした奉仕活動を年に数回実施する予定。



業務が行える国家資格のこと。苗井さんは、尊敬する多くの先輩方が技術士の資格を取得している

ことから一年前から準備を進め、四テーマの論文の筆記試験と、その後の口頭試験に見事に一回で

合格したものの。

ちなみに今回の試験で七人が合格、同社の技術士は計四十二人に。そして女性技術者約三十人のリーダーを担う苗井さんは「提案営業等で技術士の資格は説得力があります」と。同社は今後も高度な社外資格取得を支援し、女性が活躍できる会社目指して行きたいとしており、流石は「技術の中電工」といえる。